

# 季刊 ジャネット Ja-Net

No.20

2002年1月25日発行

View from the Other Side .....	3
あちこち日本語ご紹介[青森県 青森市] .....	4
あちこち日本語ご紹介[キューバ ハバナ] .....	5
教材紹介『みんなの日本語初級 初級で読めるトピック』 .....	6
『みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳』 .....	7
なんでも情報BOX .....	8

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーエーネットワーク

## 巻頭寄稿

# 中国人の日本語学習について

北京外国語大学 教授  
汪玉林



中国における日本語学習者の数は数年前（「海外の日本語教育の現状」国際交流基金1998年）の統計調査では24万人であったが、現在では増加の傾向にある。

中国では従来より公立の中学校、高校、専門学校、大学において日本語教育がおこなわれてきたが、最近では小学校（大連市）、多くの私立学校でも日本語教育がおこなわれるようになった。また中国の各地で中国人に日本語を教えている日本語教師もかなりの数にのぼる。

そこで日本人が中国人に日本語を教えるにあたって注意すべき点をいくつかあげてみたい。

## 1. 漢民族の方言と少数民族の言葉

中国は国土も広く多民族国家であるため、同一に中国人といっても、地域差、民族の異なりがある。中国は漢民族のほかにも五十五の少数民族があり、その数は全人口の8%を占めている。

まず漢民族について述べよう。漢民族は統一した漢字を使用しており、この文字によって手紙や公文書、本、新聞等が書かれている。それらは「書くこと」と「読むこと」において活用されているが、これに対し「話す」ということになると、同じ漢民族でも方言等によってかなり異なる。場合によっては方言はまるで外国語のようなもので、広東語、上海語、福建語などはそれらの代表的なものといえよう。

中国では同じ地域であっても、山や川を越えれば、言葉が違う場合が多い。

現在普通話（標準語）の教育が小学校からおこなわれているが、学校では普通話を話し、家では方言を話すというのが一般的である。一般論としては漢民族が日本語を勉強した場合、発音についてはさして問題はないであろう。蘇州、杭州出身の学生は、日本語の発音は難しくないとのことであり、また武漢

（湖北省）出身の学生は「な」と「ら」の区別は難しいと言われる。彼らにとって「な」と「ら」は同じ発音である。この例をみただけでも方言が日本語の発音の勉強にかなり影響をしていることがわかる。したがって中国人に日本語の発音を教える場合、方言という“母国語”を無視してはいけいのである。

少数民族は自分の民族の文字と言葉を持っている民族がいる。それらの学生に日本語を教える場合、その民族言語を無視してはいけい。彼らは小学校、中学校、高校の学校教育も自分の民族の言語によるものであったため、中国語という標準語の教育も受けてはいるものの、大学で日本語を勉強する場合には「難しい」と言う者もいるし、「やさしい」と言う者もいる。

例えば日本語の数の数え方である「いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち」という発音はチベット語とよく似ており、チベット族の学生は日本語の発音は簡単だと言う。またウイグル族の学生は「日本語の構文がウイグル語と類似しているところもあり、やさしい」と言う。このように中国の学生に日本語を教えるには、その共通点と相違点を把握することが重要である。

## 2. 漢字についての感覚の違い

中国語の漢字と日本語の漢字の意味が違うことはおそらく最初の授業で教師がまず説明することであるが、中国人の学生が日本語を勉強する場合、日本語の漢字をどう思うか。学生によれば「漢字があるから、日本語がやさしい」「漢字があるから日本語が難しい」という二つの意見に分かれる。

そこで日本語にある漢字を理解するのに近道はあるのだろうか。その答えはなかなか難しい。中国語と日本語を比較してみればなおさら難しいことがわかる。例えば「娘」は中国語では「母」を意味する。また「野菜」は中国語では「山菜」であり、「高校」は中国語では「大学」のことである。

そして日本語の漢字の難しさは何といっても人名、地名の読み方であろう。10年、20年日本語を勉強している者でも、まだ日本の人名、地名をうまく読めない。どこかがおかしいという声が聞かれることもよくある。

### 3. 敬語と親族の呼び名

日本語と中国語の敬語の使い方は大部違う。例えば日本語の「お」は大変便利なものである。おなまえ、お宅、おとうさんの場合、すぐ話し手と聞き手の関係がわかるし、相手に対する尊敬の気持ちもよくわかる。

そこで相手に尊敬の意を表すために「お」を、「くつした」や「コップ」という単語に使ったらどうなるか。例えばおくつした、おコップと言えるだろうか。実際教壇に立つとこういう質問はよくあるのである。

親族の呼び名についても、中国人と日本人はかなり違っている。相手を尊敬できる気持ちをこめて呼び名を選んで使うのが中国人の習慣であるがこれに対し、同じ感覚で日本人に対してこれを使えばたちまち失敗を起こすことがある。複雑な中国人の家系図を日本語で説明することは時間がかかり、大変なことである。そして日本人の親族の呼び名は便利ではあるが中国人から見れば、「おばさん」「おじさん」は父親側の「おばさん」か、母親側の「おじさん」かは明確でない。

### 4. 教育者と学習者の相違

大学においては教師が学生に教えるものと学生が求めているものがかならずしも一致するわけではないが、ここで北京外国語大学日本語学部のカリキュラムと卒業論文を見てみよう。

#### 日本語学部のカリキュラム

日本語精読	通訳
日本語会話	日本近代史
日本国情	日本経済概論
ヒヤリング	日本企業管理
視聴覚	新聞講読
文学作品	作文
文学史	日本文化
翻訳	

各課目のコマ数は学年によって違うが週に2コマから6コマまでとされている。このようななかで1999年卒業生31名の卒業論文のテーマを見ると、それらは広い範囲にわたっている。学生31名の卒業論文のテーマは次の通りである。

1. 日本の生涯学習について
2. 日本語の慣用句についての考察
3. 違う生活様式を持っているウイグル族と日本人について
4. 日本語と現代ウイグル語の文構造についての比較
5. 日本のナゾナゾについて
6. 敬語のはたらきについての考察
7. 『破戒』から見る島崎藤村の自然主義
8. 日本語の「自動詞」・「他動詞」との比較

9. 中日高齢化の比較
10. 若者ことばについて
11. 日本の青少年非行について
12. 日本のバブル経済崩壊の教訓と中国の住宅制度改革の展望
13. わびと黄金 茶の湯から見る桃山文化の対極的な美
14. 日本国有鉄道民営化から中国国有企業改革を考える
15. 雲南と日本の赤飯礼儀の比較研究
16. 雲南と日本の鳥居信仰に関する研究
17. 雲南と日本の滑車型耳飾りに関する比較研究
18. 日本社会における高齢者の再就職への対応策
19. 中日企業に関する行動様式の対照分析
20. 日本における少子化現象
21. 類義語「いっそう」「さらに」「ますます」「もっと」の使い分けについて
22. 中国共産党と日本共産党の関係和解についての私的考察
23. 不良債権処理を発機とする日本金融改革に関する一考察
24. 三島由紀夫の思想精髓 文化概念としての天皇制と文武両道
25. 川端康成の美意識 美と哀愁について
26. 冷戦後の日米安保と中日関係
27. 現代日本社会における広告の影響
28. 冀東密貿易
29. 井伏鱒二の「山椒魚」
30. 新しい時代の中日関係
31. 鷗外と「エリス」

このように学生の卒論を見ると、彼らが求めているものが何かがわかる。したがってこれでもわかるようにこれからの日本語教育は日本語学習だけでは当然不十分である。学習者が日本語の習得を通じて、日本人と日本社会について理解を深め、その上にとって研究をすすめることが重要となっている。

当然授業内容の充実をはじめ、そのための内容豊かな講義、そして理論と実践のむすびつきが今教師に求められているのである。



これから中国の日本語教育を担っていく学生と筆者（一番左）

汪玉林 北京外国語大学教授  
1952年中国黒龍江省生まれ。1975年北京外国語大学日本語学部を卒業。1975年から現在まで北京外国語大学日本語学部教師。また派遣教師として1981年～1983年大東文化大学中国語学科講師。1993年～1995年大東文化大学中国語学科客員教授。  
現職：国家教育部外国語教育指導委員会委員。北京外国語大学日本語学部部長。中国日本語教学研究会常務理事  
主要著書：『日本漢詩集英』『日本文化の源流』『日本文化十五講』『解説日本・中国憲法』等

## VIEW FROM THE OTHER SIDE

日本語はまだまだですが、いろいろ勉強したいです  
「あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師」国家試験合格を目指す盲留学生



国際視覚障害者援護協会（IAVI）では日本で「あん摩・マッサージ・指圧、鍼、灸」の勉強をする盲留学生に、日本語教育と日本の生活指導をしています。協会での勉強が終わったら、各地の盲学校に入学し、専門の勉強をします。2001年秋、3人の盲留学生が来日しました。来日前に『新日本語の基礎』（以下『新基礎』）の点字教科書で日本語を勉強しています。来日して1～2カ月たったところで日本語の勉強や日本の生活などについてお話をお聞きしました。（Ja-Net編集室）

「スポーツが大好きです。できたら講道館へ行ってみたいです」  
カンチット・ソムジットさん（タイ）

タイでは『新基礎』を2カ月勉強してきました。わからないところは、日本人の友人に教科書を読んでもらって、あとは自分で勉強しました。私は少し見えるので、ローマ字の辞書も使っています。

月曜から金曜まで日本語と生活オリエンテーション、土曜と日曜はいろいろな所へでかけています。東京は点字ブロックがあって便利です。バンコクにもありますが、少ないです。私はスポーツが大好きで第二と第四日曜は代々木公園へ行ってボランティアの方と一緒にマラソンをしています。12月9日にマラソン大会があり、グラウンド8周、13.6km走りました。

他にスポーツでは、柔道が好きです。タイで習ったのですが、まだ3級です。日本にいる間に、一度講道館へ行ってみたいです。それから、雪祭りで有名な札幌へも行ってみたいです。

「手のひらに漢字を書いてもらえば、わかります」

チョー・リーさん（中国）

私は日本は2回目です。2000年8月から10カ月、ダスキンの障害者リーダーシップトレーニングプログラムの研修生として日本で研修しました。その時に日本語を『新基礎』で勉強しました。肢体不自由障害者と視覚障害者は一緒に勉強しました。私は点字で勉強しました。聴覚障害者は手話で勉強していました。

緑内障で目が全く見えなくなったのはおとしです。学校は普通の学校に行きました。ですから、日本語も漢字を手のひらに書いてもらえばわかります。でも日本語はまだまだ上手ではありません。

今回の日本滞在では、専門の他にもいろいろ勉強したいです。日本の社会福祉施設を見学したいです。日本の文化について、もっともっと知りたいです。例えば、ことわざ、茶道、陶



芸、生け花などです。去年陶芸を経験して、とても嬉しかったです。上海にも陶芸はありますが、盲人が経験するのは難しいのです。また日本の料理はヘルシイでいいです。食道楽の大阪で食べたお好み焼きがおいしかったです。

「初めてのことばかりです。箸の使い方も勉強中です」

ヒシャム・エルセル・ビラル・サリさん（スーダン）

私は2001年5月に大学を卒業しました。日本に来る前に『新基礎』を日本留学の経験のあるスーダン人に3カ月、それから『新基礎』を1カ月、友達から習いました。そして、11月10日に日本へ来ました。小学校と中学校は盲学校へ行きました。まずアラビア語を、それから英語を点字で勉強しました。今点字で日本語を勉強しています。日本語は難しいです。英語と違って「助詞」があります。それに日本人が話すのは早いです。日本語をたくさん勉強しなければなりません。

日本では、初めてのことばかりです。毎日の食べ物も初めてのものばかりです。「食べたことがありますか」「いいえ、まだありません」とよく話します。箸の使い方も勉強中です。

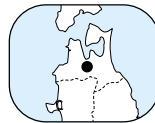
スーダンのハルツームは大きな町ですが、東京と比べると、地下鉄がない、電車がない、点字ブロックもないです。みんな初めての経験です。白杖を使っての歩行訓練も始まりました。点字ブロックの使い方や駅の中の歩き方を覚えて、ひとりで地下鉄に乗らなければなりません。

東京都板橋区にある社会福祉法人国際視覚障害者援護協会(International Association for the Visually Impaired: IAVI.通称ICB)では海外から盲留学生を受け入れ、日本での留学生生活を支援しています。ICB奨学生として6カ月の事前教育を受けた盲留学生は、4月から各地の盲学校高等部専攻科理療科などへ入学し、3年間専門の勉強をして国家試験合格を目指します。卒業後は、帰国して三療師として、また盲学校教師として活躍しています。

ICBは活動を始めて30年、これまでに13の国・地域から48人の盲留学生を受け入れ26の盲学校へ送り出しています。

# あちこち 日本語 ご紹介

国内編



青森県  
青森市

北の街から

青森日本語クラブ  
新山和子

青森市は、人口およそ30万人で、青森県の中央に位置し、東は下北半島（通称まさかり半島）、西は竜飛崎でおなじみの津軽半島、南は映画「八甲田山」で有名な八甲田連峰、北は石川さゆりの「津軽海峡冬景色」に歌われている津軽海峡、春夏秋冬もそれぞれ趣きがある風光明媚な勉強に適した土地です。

ただ一つ大変なことは、冬の積雪量です。記録によると、昨年の累積積雪量は10メートルを超えたということです。

冬をどう過ごすかが、青森の人にとって、大きな課題です。そのこともあり、2002年の2月に開催される北方都市会議には、大きな期待が寄せられています。

## クラブ設立のきっかけ

日本語支援ボランティアグループ「青森日本語クラブ」は、2001年4月、青森県の委託事業として設立されました。まだ1年足らずの通称「ひよっこクラブ」です。青森県内各市町村においては、国際交流事業は盛んですが、日本語支援事業はあまり多いとは言えません。青森市内にはまだ、自主的な（県や市で行っているものは除く）日本語支援のボランティアグループがありませんでしたので、それでは私達で立ち上げましょうというのが、設立のきっかけです。

現在のメンバーは、顧問1名、事務局1名を含む合計10名で構成されていて、実際に授業に携わっている講師8名は、青森県国際交流協会主催による「日本語教授法実践講座」で共に学びあった講座担当講師と講座修了者です。「日本語教授法実践講座」で培った教授法を活かしたい、学習者の方々とのふれあいを続けたいというチームワークの良さが自慢のグループです。

## 学習者について

学習者の募集方法は、県や市で発行している機関紙やホームページへの掲載、また留学生のいる大学へポスターの掲示をお願いしました。その結果、県内各地からたくさんの申込みがありました。

学習者の国籍は、アメリカ、カナダ、イギリス、ロシア、フィリピン、キューバ、中国、韓国、バングラデシュなどです。職業も英語指導助手、国際交流員、主婦、留学生など、実に様々です。



2001年4月設立の青森日本語クラブ。「日本語教授法実践講座」で培った教授法を活かし、学習者とのふれあいを続けたいというチームワークの良さが自慢

## 活動内容

一年を4月～7月、8月～12月、1月～3月の3期に分け、年間40回の活動を予定しています。

クラスはレベル別に入門、初級、初級、中級の4つです。聞く、話す、読む、書くなどの総合的な力をつけるために、1クラスを講師が2名ずつで担当し、少人数のグループ制をとっています。

授業は、媒介語を使わずに日本語だけで授業をする直説法を実践しています。初級は、文法説明やすぐ使える会話中心のロールプレイなど、中級は、文法説明や新聞が読めるようになること、日本語で手紙が書けるようになることを目標に漢字学習な

ども取り入れています。

講師達は、とかく単調になりがちな文法学習を楽しく、わかりやすく教えられる様に、十分な準備をしなければなりません。そして、各クラスとも教える側の発言を極力少なく、学習者の発話を多くする様、努力しています。

ですが、単に言葉の習得だけが目的ではなく、各期の活動最終日には、講師と学習者の絆を取り払った親睦のためのパーティーを設けたり、クラブのテーマソングを取り入れるなど、和気あいあいと楽しんでいます。

## これからの課題・目標

学習者の様々なニーズに対応していくには？講師の知識の向上や指導技術の向上は？など、課題は山積みですが、学習者のみなさんに、青森に住んでよかったと思ってもらえる様に、講師全員が自己研鑽に努めながら、日本語の学習のお手伝いをしていきたいと思っています。

近々、ホームページの開設も予定していますので、より多くの人たちにクラブの存在を知っていただき、また、活動にも参加していただきたいと思っています。

## 青森日本語クラブのモットー

私たちが毎日何気なく使っている言葉のわけや不思議を  
なによりもまず、私たちが面白がりた  
いそして、それを支える知識と経験を常に磨く  
そういう者に私たちはなりた

## 青森日本語クラブ 問い合わせ先

住所：〒030-0944 青森市筒井二丁目16-21  
電話：017-738-7625  
代表：新山和子

# あちこち日本語ご紹介

## 海外編



キューバ  
ハバナ

キューバ人には「日本語」は難しい：  
ハバナ大学日本語教育事情

ハバナ大学  
Harold Jam Morales

### ハバナ大学と「日本語」

1728年創立のハバナ大学はキューバで一番古くて大きな大学です。芸術学部、法学部などに加えて外国語学部（英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語）が1971年に設置されました。選択科目としての語学はポルトガル語、イタリア語に加え、1995年から日本語も加わりました。尚、キューバの大学は医学部と外国語学部は6年制で他は5年制です。

日本語を選ぶ学生の目的は、将来日本へ行って最新の医療技術を学びたい、旅行関係の仕事につきたい（最近キューバへの日本人旅行者が増えています）、日本のコンピューター技術を学びたい、日本に旅行したい人など様々です。キューバでは英語やフランス語を話せる人は多いのですが、日本語を話せる人はとても少ないので日本語ができると就職の際にとっても有利です。

大学1年で『みんなの日本語初級』、2年で『みんなの日本語初級』を使います。3年は様々な教材を使っています。3年間で一応「日本語」は修了します。尚1年は2つのセメスターに分かれています。

### 日本語の授業

私たちは1999年10月からそれまで採用してきた『新日本語の基礎』から、より一般的で使いやすくなった『みんなの日本語初級』に変えました。学生の習熟度が格段によくなったように思います。

'99年9月、生徒40人で『みんなの日本語初級』のクラスが始まりましたが、'01年6月に『初級』を修了した時、学生は19人になってしまいました。そのうちの2人は今日本に留学しています。

日本語の授業は週8時間（「文法」4時間、「会話」2時間、「漢字」2時間）です。「文法」は『みんなの日本語初級』を使っています。授業では難しい説明にはスペイン語を使うこともありますが、できるだけ日本語で話そうにしています。「会話」クラスでは『新日本語の基礎』、「会話ビデオ」を、試験の時には「復習ビデオ」を使っています。

キューバ人には「日本語」は難しく、特に「漢字」が大変です。授業では、はじめからひらがなカタカナを使っていますが、3週間目ぐらいから『みんなの日本語』に出てくる漢字を中心に「漢字」の勉強を始めます。すると約半分の学生

が来なくなってしまいます。1年で約200の漢字を勉強しますが、学習が続いている学生は漢字に大変興味を持ちます。日本語講師は5人、全員キューバ人です。そのうちの2人は日本に留学経験のある外国語学部の5年生です。



学内ボランティアでソーシャルワーカーにコンピューターを教えた活動が評価されカストロ議長から表彰を受けた筆者（'01年7月）

これからのキューバの「日本語」に向けて

'01年1月に日本からの無償援助で、最新の教育機器が整った教室が2つできました。そのおかげで学生の学習意欲も高まり、教師も大変喜んでます。

今後キューバと日本の関係は、経済や文化スポーツの交流も深まり、日本人観光客も更に増えてくると思います。学生の「日本語」への関心も益々高まってくると思います。

ハバナ大学では1年、2年で『みんなの日本語』で日本語の基礎を学んでいます。それから、どのように中級へつないでいくか、そして少しでも多くの学生に日本語の学習を続けていってもらうにはどうしたらいいか、日本語講師が足りないなどいろいろ課題はありますが、ハバナ大学の日本語教育をより実践的で実りあるものにしていきたくと思っています。



『新日本語の基礎会話ビデオ』を使った「会話」の授業。ビデオを視聴しながら、会話シートにわからないことを記入していく。学生はハバナ大学の学生、他、卒業生も多い。旅行会社の韓国語通訳、医者など社会人も熱心に受講している

# 教材紹介

『みんなの日本語初級 初級で読めるトピック25』  
『みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳』



『みんなの日本語初級 初級で読めるトピック25』 楽しみながら読みに対する自信を培う教材

(財)海外技術者研修協会 非常勤講師 牧野昭子

この本は『みんなの日本語初級 初級で読めるトピック25』の続編として、『みんなの日本語初級』で読むことに少し慣れた学習者により一層読む楽しさを体験してもらい、読むことに対する苦手意識を持たずに次の中級レベルの学習にスムーズに移行できるように、との趣旨で作られました。『みんなの日本語初級』の場合と同じく、各課の文法項目は『みんなの日本語初級』の学習に準拠しており、未習語彙には5カ国語訳がつけられています。各課には「本文」とその内容理解のための問題、様々な教室活動のヒントになる課題があり、課によっては本文関連の資料やお楽しみの「プラスアルファ」のページがあります。

読む楽しさを第一に、『』と同様『』でも様々なジャンルのトピックを取り上げました。トピック一覧からもわかるように、昔話から最先端の科学の分野までバラエティに富んだ話題を集め、知的な興味のある大人の学習者が十分楽しめるものを目指しました。既に知っていることを外国語で読むのも一つの訓練ですが、読んで新しい知識が得られれば、より一層読む楽しさが味わえます。またこの本では教師の側にとっても、何かしら新しい「知の発見」があるのではないかとと思われる内容のものを取り入れるようにしました。もちろん限られた文型、語彙で十分にその目的が達せられるわけではありませんが、学習者のもっと読みたいという意欲と興味をかきたてることができるのではないのでしょうか。

トピックや内容が多岐に渡れば、読み方にもそれなりの違いが出てきます。事実の報告、数値的なデータ、意見・感想、心理描写、物語などそれぞれの読み物の性質や内容に応じて、その要点を掴み取る練習ができるように、問題も工夫されています。一つ一つの語句や文の意味を確認するといったような精読は必要ありません。むしろトピックに注目し、それに関する学習者自身の知識を

活性化させ、いちいち語彙の意味や文型を確かめなくても、おおまかに内容をつかみとっていくという読解の基本を身につけることが目標です。付属の教師用ガイドには、読む前にどのように学習者の既有知識を引き出したらいいか、読んだ後で新たに得た知識をどのように産出活動に結び付けたいか、などのヒントが載っているので、活用してください。

以上のように、この本は楽しみながら知識を広げ、読みを初めとする言語技能を磨き、中級への基礎固めのできる一石三鳥の頼もしい教材です。この本を通して得た読みの技能が、読解中心の中級の学習への取り組みを容易にするのに役立つことを願っております。

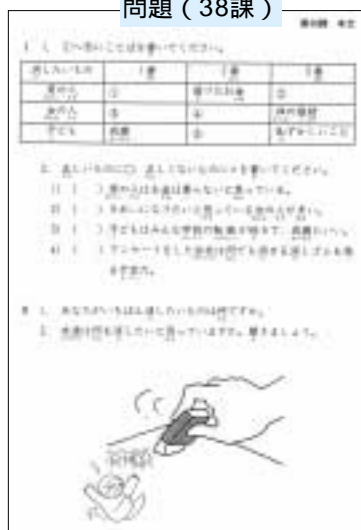
## トピック一覧

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| スペースシャトルの生活は<br>どうですか | ○消したいもの      |
| ○忍者                   | ○タイタニック      |
| ○昼ごはんはどこで? 何を?        | ○常識          |
| ○わたしの失敗               | ○ロボットといっしょ   |
| ○日本でいちばん              | ○肉を食べると      |
| ○1月1日                 | ○お元氣ですか      |
| ○20世紀の予想              | ○カレー         |
| ○大声大会                 | ○119番に電話をかける |
| ○あなたの国では?             | ○いとこの長靴      |
| ○自動販売機                | ○空を飛ぶ自動車     |
| ○動物の目                 | ○竹取物語        |
| ○55年かかってゴールインした日本人選手  | ○人生          |
|                       | ○紫式部に聞く      |

### 本文 (38課)



### 問題 (38課)



## みんなの日本語初級 初級で読めるトピック25

B 5 判 90頁 1,400円  
牧野昭子・沢田幸子・重川明美・田中よね・  
水野マリ子 共著



## みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳

B 5 判 180頁 1,300円  
平井悦子・三輪さち子 共著

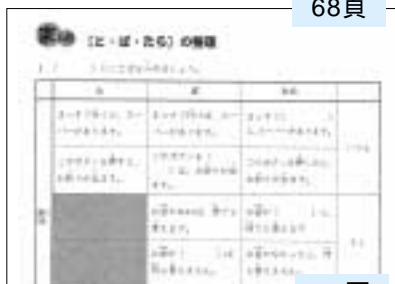


### 『みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳』 書いて初級文法の整理・定着を図る教材

日本語講師 平井悦子 日本語講師 三輪さち子

『みんなの日本語初級 書いて覚える文型練習帳』は各課の学習項目に合った基本練習に加え、助詞や副詞の整理、テーマに合った短文等を取り上げています。また、『みんなの日本語初級』で学習した文型との違いを整理するもの・使い分けに混乱が見られる語彙の整理・間違いやすい文法項目の整理・定着を図るものがあります。例えば、「と・ば・たら」「て、から、ので」「自動詞・他動詞」「受身・使役」「尊敬・謙譲」等です。本書のご使用の際は、しっかり口頭で練習した後に書かせる、という点に配慮して下さい。学生が書いた後、正誤を確かめるのはもちろんですが、スラスラ読めるように練習させたり、正しく書き直させたりすることも必要です。以下にクラスでの使い方の一例と、学習者が実際に書いた作文をご紹介します。

68頁



クラスでの使い方の一例（「と・ば・たら」の整理）

学生に「と・ば・たら」を使った文を考えさせ、発表させます。学生をペアあるいはグループに分け、考えさせ、黒板に書かせるのもよいでしょう。

\*初めから、本書を開かせると、（ ）に書き込むことに気をとられてしまいます。ここでの目標は「と・ば・たら」の使い分けですから、学習者にまず考えさせます。

P68を開かせ、（ ）に記入させます。

動詞・形容詞・名詞との接続に気をつけさせます。答えを確かめ、「と・ば・たら」がどんな時に使われているかを再度確認します。

P69を使い、「と・ば・たら」の使い分けの練習をさせます。

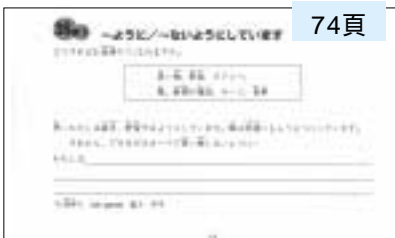
の短文は黒板に書かせるなどして正しく書けたか確認してください。

時間の余裕がある場合はペアあるいはグループで「と・ば・たら」を使った会話を作らせ、定着を確かめるとよいでしょう。例えば、「と」は「道案内」、「ば」は「話題提示」、「たら」は「～たあとで（予定完了）」等の会話です。

69頁



74頁

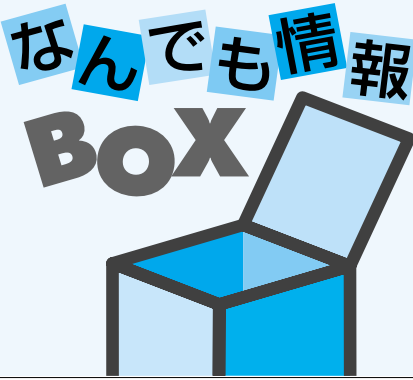


学習者の作文（36課 5）「～ように／～ないようにしています」

作文例：私は毎朝、新聞を読むようにしています。これは世界の政治を知ることができますから。それで、政治家になったら、もちろんお金持ちになります。（中国）

作文例：私は毎日太らないようにしています。食事はご飯を食べないようにしています。こんにやくやそばを食べるようにしています。果物をたくさん食べるようにしています。（ロシア）

ともに、学習歴3カ月の学習者です。トピックスは「どうすればお金持ちになれますか」ですが、作文例のように学習項目である「～ように／～ないようにしています」を使って自分の生活を的確に表現させることもできます。このようにトピックスに関わらず学習者が書きたいことを書かせてもよいでしょう。



セミナー SEMINARS



初心者のための『みんなの日本語初級』の教え方、『新日本語の中級』を中心とした中級の教え方・東京会場  
 昨年ご好評いただいた『みんなの日本語初級』の教え方を3月下旬～4月上旬(予定)に、また『新日本語の中級』を中心とした中級の教え方を4月(予定)に開講いたします。各講座とも日時、場所等詳細は2月上旬にお知らせできる予定です。詳細等ご希望の方は、後日講座案内を送付させていただきます。お問合せ下さい。

日時：『みんなの日本語初級』3月下旬開講予定  
 『みんなの日本語初級』4月上旬開講予定  
 『新日本語の中級』を中心とした中級の教え方  
 4月6日(土)、13日(土)  
 各14:00～16:30(予定)  
 \* は各計10時間、は計5時間を予定  
 講座案内をご請求下さい  
 講師：清水澄子(スリーエーネットワーク日本語講師)  
 平井悦子(スリーエーネットワーク日本語講師)  
 会場：未定(東京都内の会場を予定しております)  
 定員：各20名  
 費用：各15,000円 7,500円

初心者のための『みんなの日本語初級』の教え方・大阪会場  
 今まで多くのお問合せをいただいておりました『みんなの日本語初級』の教え方を、大阪で開講することになりました。今回は『初級』のみの開講となりますが、この機会に皆様の参加をお待ちしております。

日時：3月16日(土) 13:00～17:00  
 17日(日) 10:00～13:00、14:00～17:00  
 \* 計10時間、講座案内をご請求下さい  
 講師：飯塚達雄(スリーエーネットワーク日本語講師)  
 会場：エル・おおさか  
 (大阪市中央区北浜東3-14)  
 定員：18名 費用：15,000円

問合せ/申込み：スリーエーネットワーク講座係  
 TEL:03-3292-6410 FAX:03-3292-6197  
 E-mail:ja-net@3anet.co.jp

ほん

BOOKS

本誌に表示した価格は税別です。

みんなの日本語初級 翻訳・文法解説ロシア語版	3月下旬発売予定	2,000円
みんなの日本語初級 漢字英語版	発売中	1,800円
新日本語の基礎 ・ カセットテープ	発売中	各7,000円
新日本語の中級 文法解説英語版	4月発売予定	予価：1,800円
トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 上級	発売中	1,500円
トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 上級用資料集	発売中	2,000円
日本語中級J501 英語版(改訂版)	発売中	2,800円
日本語中級J501 中国語版	発売中	2,800円
日本語中級J501 韓国語版	発売中	2,800円
こどものほんご1	2月下旬発売予定	2,000円
[日英対訳] 日本で暮らす外国人のための生活マニュアル2002 / 2003年度版	3月発売予定	1,800円
[日中対訳] 日本で暮らす外国人のための生活マニュアル2002 / 2003年度版	3月発売予定	1,800円

みんなの日本語初級 携帯用絵教材

3月発売予定  
 予価：6,500円

全336枚【白黒】：  
 動詞209枚、形容詞38枚、名詞82枚、白紙7枚(予定)  
 体裁：A5変形 白黒判(一覧表付)

『みんなの日本語初級』に準拠した絵教材  
 次のような練習に有効です。  
 新出語彙の導入・練習  
 形容詞や動詞の活用及び変換練習  
 文型の定着のための練習  
 効率的な複文の指導  
 このほかゲームなどにも利用できます。

\* 『みんなの日本語初級 B4サイズ絵教材』(予価：38,000円)は5月発売予定です。



お知らせ INFORMATION



皆様からの投稿や各コラムへの質問、ご意見等をお待ちしております。採用させて頂いた方には粗品を進呈いたします。また本誌をご希望の方は、お名前、ご住所、所属をFAX等で編集部までお知らせください。無料でお届けします(国内のみとさせていただきます)。過去のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください(在庫切れの場合もありますのでご了承ください)。「Ja-Net」第21号は4月25日発行予定です。

メールマガジン好評配信中!

スリーエーネットワークでは皆様への新刊案内、各種セミナー等のお知らせをより充実させるために、メールマガジンの配信を始めました(月一回配信予定、無料、海外可)。またメールマガジンでしかご覧いただけない「コラム」もあります。メールマガジン1月号の「コラム」は、慶應義塾大学教授 平高史也先生の「『李良枝からの電話』秘話」(仮題、『日本語中級J501』より)を予定しています。配信希望の方はメールアドレス、お名前、所属等(ある方のみ)を明記の上、下記のアドレス宛お申込みください。

メールアドレス  
 info@3anet.co.jp

Ja-Net 季刊ジャネット No.20

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)のいわゆる発展途上国の多くが存在する3つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好の促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2002年1月25日発行  
 発行人 小川 巖  
 発行所 (株)スリーエーネットワーク  
 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 松栄ビル  
 Ja-Net編集部 TEL 03-3292-6410 FAX 03-3292-6197  
 営業部 TEL 03-3292-5751 FAX 03-3292-6195  
 http://www.3anet.co.jp E-mail: ja-net@3anet.co.jp  
 印刷 日本印刷(株)  
 © 2002by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)